『シンドラーのリスト』は私が一番好きの映画の一つが、「日本のシンドラ」と言う名前は一度でも聞いたこともない。正直自分はこの映画にあんまり期待していない、だが見た後私は感動した、特に火車駅のシーン。杉原は一所懸命で、多くのユダヤ人救う為、火車を駅から離れるまでずっとサインを続けてあげる。

　杉原千畝は他人の命の為、自分を犠牲した。彼は無くなたまで、ずっと不幸の人生を過ごした。討論の時先生は杉原の名前は日本では誰でも知らなかったといいました。むしろ国内より、彼は海外ではもっと有名だ。これは日本政府が情報を封鎖の結果では間違いないだ。杉原の行為は同盟国のドイツの行動と逆らった、戦争中で自分の国の利益を守る為に、彼がしたことを隠蔽したも如何にもならない事だ。これを理解出来ると言っても、杉原にとてこの世界はあんまりも不公平だ。やっぱり良い人は良い結末が無いとは嘘じゃ無いだ。